浄念寺概要および登録建造物（８件）について

浄念寺は大内氏家臣の吉見彦左衛門将監（法名勝願）が出家して開創したと伝わる浄土真宗の寺院。宇部駅の北東、厚東川西岸に位置し、元禄年間に洪水被害から守るために築いた高台の上に境内を構える。

【１】

１　名称

浄念寺本堂（じょうねんじほんどう）

２　所在地

宇部市大字棚井字宝福７４４

３　所有者

浄念寺

４　建設年代等

寛政２年（１７９０）、平成２４年改修

５　構造等

木造平屋建、瓦葺、建築面積３７０㎡

６　登録基準

造形の規範となっているもの

７　概要等

境内の西寄りに南面して建つ。桁行１３．６ｍ、入母屋造本瓦葺、正面一間向拝付。内陣、外陣、余間に区切り、内陣周りを金箔、漆、彩色、彫刻などで荘厳する重厚で大規模な本堂。

建立年は経蔵に保管されている棟札による。大工棟梁は土肥與三右衛門勝記。

【２】

１　名称

浄念寺庫裏及び玄関（じょうねんじくりおよびげんかん）

２　所在地

宇部市大字棚井字宝福７４４

３　所有者

浄念寺

４　建設年代等

江戸末期、平成２６年改修

５　構造等

木造平屋建、瓦葺、建築面積４７２㎡

６　登録基準

国土の歴史的景観に寄与しているもの

７　概要等

本堂の東に中庭を介して建ち正面を廊下で繋ぎ入母屋造の玄関を付す。南北棟寄棟造桟瓦葺で四周に下屋を廻す。正面の中央に玄関、東西に寺務所、台所を配して北は３列１２室を設け、北西隅の座敷は床と造付仏壇を備える。規模雄大で本堂と共に境内景観を形成。

建立年は伝承及び形式手法による。平成２６年に外壁や建具、台所、浴室などを改修し、屋根を赤瓦から燻瓦に葺替。

【３】

１　名称

浄念寺書院（じょうねんじしょいん）

２　所在地

宇部市大字棚井字宝福７４４

３　所有者

浄念寺

４　建設年代等

明治後期

５　構造等

木造平屋建、瓦葺、建築面積６７㎡

６　登録基準

造形の規範となっているもの

７　概要等

本堂と庫裡の背面側を繋ぐ廊下の背後に南北棟で立つ座敷棟。片入母屋造桟瓦葺、四周に下屋を廻し、南を廊下、東西を縁とする。南北２室の続き間座敷で壁は土壁とし、北面に床、床脇を設けて付書院を備える。素木で端正な意匠が往時の寺院の様相を今に伝える。

建立年は寺蔵記録による。

【４】

１　名称

浄念寺経蔵（じょうねんじきょうぞう）

２　所在地

宇部市大字棚井字宝福７４４

３　所有者

浄念寺

４　建設年代等

明治３２年、昭和前期改修

５　構造等

木造平屋建、瓦葺、建築面積１８㎡

６　登録基準

国土の歴史的景観に寄与しているもの

７　概要等

境内の南西隅に東面して建つ土蔵造の経蔵。方二間、宝形造、桟瓦葺で正面に下屋庇を設ける。内部は１室で棹縁天井を張る。外壁腰下を人造石洗出仕上、上部を漆喰塗とし、鉢巻を廻す。側面に漆喰で火灯窓を造り、正面戸口上を鏝絵で飾り、境内景観を整える。

建立年は木札による。昭和前期に外壁腰下を人造石洗出仕上に改修。

【５】

１　名称

浄念寺薬師堂（じょうねんじやくしどう）

２　所在地

宇部市大字棚井字宝福７４４

３　所有者

浄念寺

４　建設年代等

明治４年

５　構造等

木造平屋建、瓦葺、建築面積５．４㎡

６　登録基準

国土の歴史的景観に寄与しているもの

７　概要等

境内西方の本堂と経蔵の間に東面して建つ。東西棟の寄棟造で、桁行一間半、梁間一間、正面柱筋は開放とし、小間中控えて両開きの腰付格子戸を吊る。外壁は上部のみ真壁造漆喰塗とし竪板を張る。内部は背面に須弥壇を造る。経蔵と並び建ち境内景観を形成する。

建立年は寺蔵記録による。明治４年に末信の東光寺跡から移築された記録が残る。

【６】

１　名称

浄念寺蔵（じょうねんじくら）

２　所在地

宇部市大字棚井字宝福７４４

３　所有者

浄念寺

４　建設年代等

明治中期、平成２２年改修

５　構造等

木造２階建、瓦葺、建築面積１９㎡

６　登録基準

国土の歴史的景観に寄与しているもの

７　概要等

境内北東隅、庫裏の東方に南北棟で西面して建つ蔵。桁行二間半梁間二間、土蔵造２階建、切妻造桟瓦葺。正面中央に出入口と二階窓を開き、それぞれ腕木庇を付す。外壁は漆喰塗で腰を竪板張、軒廻りを金属板張とする。小屋組は和小屋。境内北東部の景観を構成。

建立年は寺蔵記録及び形式手法による推定。平成２２年に軒廻りを金属板張に改修。

【７】

１　名称

浄念寺山門（じょうねんじさんもん）

２　所在地

宇部市大字棚井字宝福７４４

３　所有者
　浄念寺

４　建設年代等
　明治４３年、平成２８年改修

５　構造等
　木造平屋建、瓦葺、間口４．１ｍ

６　登録基準
　国土の歴史的景観に寄与しているもの

７　概要等
　境内南方の石階段を上った先に南面して建つ四脚門。入母屋造桟瓦葺、両脇に桟瓦葺袖塀を付す。組物は詰組、二軒繁垂木。虹梁や木鼻、蟇股、欄間、支輪板、小脇板など随所に彫刻を配る。桟唐戸を吊り内部は格天井を張る。装飾豊かな表門が境内正面景観を荘厳。
　建立年は墨書による。大工棟梁は門手徳三郎。平成２８年に赤瓦から燻瓦に葺替。

【８】
１　名称
　浄念寺煉瓦塀及び石垣（じょうねんじれんがべいおよびいしがき）

２　所在地
　宇部市大字棚井字宝福７４４

３　所有者
　浄念寺

４　建設年代等
　昭和５年頃

５　構造等
　塀：煉瓦造、総延長７０ｍ
　石垣：石造、総延長４９ｍ

６　登録基準
　再現することが容易でないもの

７　概要等
　境内南辺の石垣上に建つ煉瓦塀。山門袖塀の両脇に接続し、西端は北方に矩折する。延石の上に石炭灰と石灰を混練して乾燥させた炭滓煉

瓦を長手に積み、蛇腹を雁木積みとして笠石を２段積む。４ｍ内外の間隔で控壁を設ける。炭滓煉瓦が独特の景観を演出。

　建立年は石碑の記録と古写真による。石垣は元禄年間に境内を洪水被害から守るために築かれたと伝わる